

第2次北九州市生物多様性戦略の 進捗評価報告(令和5年度実績)について

本市の生物多様性に関するこれまでの取組

- 平成17年9月、政令市で初めて、自然環境保全の基本計画である「北九州市自然環境保全基本計画」を策定
- 平成22年11月、生物多様性基本法の制定を受けて、北九州市自然環境保全基本計画を改訂する形で「北九州市生物多様性戦略」を策定
- 平成28年3月、生態系サービスや生物多様性の危機等の新しい視点を盛り込んだ「第2次北九州市生物多様性戦略」を策定

第2次北九州市生物多様性戦略の構成

《2015年度～2024年度》

- ◆ 基本理念：都市と自然との共生
～豊かな自然の恵みを活用し自然と共生するまち～
- ◆ 5つの基本目標と12の方向性、60の基本施策を設定

基本目標		方向性	
1	自然とのふれあいを通じた生物多様性の重要性の市民への浸透	1	自然環境にふれあう機会の創出
		2	農林水産業の活性化と地産地消を通じたふれあいの推進
		3	里地里山の利用と活用
2	地球規模の視野を持って行動できるような高い市民環境力の醸成	4	環境教育・学習の推進、普及啓発
		5	自然環境に精通した人材の育成
3	自然環境の適切な保全による、森・里・川・海などがもつ多様な機能の発揮	6	生態系ネットワークの形成
		7	地域固有の生態系の保全と利用
		8	希少種の保全及び外来種の対策
4	人と自然の関係を見直し、自然から多くの恵みを感じることができる状態の維持	9	自然と調和した都市基盤整備の促進
		10	事業の実施に伴う環境配慮
5	自然環境調査を通じて情報を収集、整理、蓄積し、保全対策などでの活用	11	自然環境調査の実施とデータベースの構築
		12	市民参加による自然環境情報の収集

2

戦略の推進に向けた数値目標

基本目標1 自然とのふれあいを通じた生物多様性の重要性の市民への浸透

番号	項目	単位	目標値(年度)
1	本市が取り組む環境学習プログラムとしてのエコツアー参加人数	人	6,500(2020)
2	響灘ビオトープのガイドツアー参加人数	人	4,000(2020)
3	自然環境体感ツアーの参加人数	人	500(2019 累計)

基本目標2 地球規模の視野を持って行動できるような高い市民環境力の醸成

番号	項目	単位	目標値(年度)
1	小学生の環境体験科における響灘ビオトープ活用数	校	25(2024)
2	響灘ビオトープのガイドツアー参加人数【再掲】	人	4,000(2020)

基本目標3 自然環境の適切な保全による、森・里・川・海などがもつ多様な機能の発揮

番号	項目	単位	目標値(年度)
1	自然環境保全に取り組む団体への支援件数	件	10(2024)
2	「北九州市自然環境保全ネットワークの会」参加団体等が開催する自然環境保全活動参加者数	人	約2,000(2024)

基本目標4 人と自然の関係を見直し、自然から多くの恵みを感じることができる状態の維持

番号	項目	単位	目標値(年度)
1	環境首都100万本植樹プロジェクトによる植樹本数	本	1,000,000 (2024累計)
2	市街地(市街化区域)の緑の確保	%	9.5(2020 累計)

基本目標5 自然環境調査を通じて情報を収集、整理、蓄積し、保全対策などでの活用

番号	項目	単位	目標値(年度)
1	ベッコウトンボ市民調査実施回数	回	3(2020)
2	曾根干潟における生物調査の実施	回	4(2020)

3

基本目標 1

自然とのふれあいを通じた
生物多様性の重要性の市民への浸透

◆数値目標

	項目	目標値(年度)	2023 (R5)	2022 (R4)	2021 (R3)
1	本市が取り組む環境学習プログラムとしてのエコツアー参加人数	6,500人 (2020)	3,269	2,698	1,512
2	響灘ビオトープのガイドツアー参加人数	4,000人 (2020)	4,244	5,498	2,704
3	自然環境体感ツアーの参加人数	500人 (2019 累計)	960	879	790 (2019時点579)

◆基本施策に基づく主な取組



カプトガニ産卵観察ツアー



ガシヤモク観察会

4

基本目標 2

地球規模の視野を持って
行動できるような高い市民環境力の醸成

◆数値目標

	項目	目標値(年度)	2023 (R5)	2022 (R4)	2021 (R3)
1	小学校の環境体験科における響灘ビオトープの活用校数	25校 (2024)	16	25	4
2	響灘ビオトープのガイドツアー参加人数【再掲】	4,000人 (2020)	4,244	5,498	2,704

◆基本施策に基づく主な取組



響灘ビオトープでの環境体験科(アクティブラーニング)



5

基本目標 3

自然環境の適切な保全による、
森・里・川・海などがもつ多様な機能の発揮

◆数値目標

	項目	目標値 (年度)	2023 (R5)	2022 (R4)	2021 (R3)
1	自然環境保全に取り組む団体への支援 件数	10件 (2024)	11	9	9
2	「北九州市自然環境保全ネットワークの 会」参加団体等が開催する自然環境保全 活動参加者数	約2,000人 (2024)	約3,400	約2,100	約2,500

◆基本施策に基づく主な取組



市民団体によるガシャモク観察会



自然講演会

6

基本目標 4

人と自然の関係を見直し、自然から
多くの恵みを感じることができる状態の維持

◆数値目標

	項目	目標値 (年度)	2023 (R5)	2022 (R4)	2021 (R3)
1	環境首都100万本植樹プロジェクトによる 植樹本数	1,000,000本 (2024 累計)	800,070	784,926	750,233
2	市街地（市街化区域）の緑の確保	9.5% (2020 累計)	8.5	8.5	8.4

◆基本施策に基づく主な取組



植樹会



都市公園（勝山公園）

7

基本目標 5

自然環境調査を通じて情報を収集、整理、蓄積し、保全対策などでの活用

◆数値目標

	項目	目標値 (年度)	2023 (R5)	2022 (R4)	2021 (R3)
1	ベッコウトンボ市民調査実施回数	3回 (2020)	6	7	1
2	曾根干潟における生物調査の実施	4回 (2020)	8	8	8

◆基本施策に基づく主な取組



曾根干潟の鳥類調査



市民参加によるベッコウトンボ頭数調査

8

本戦略の総合評価

- 本戦略に掲げている基本目標の達成に向けた60の基本施策は、ほぼ全て取組を実施
- 多くの事業について、概ね「順調」に進捗していると判断

今後の取組

- 新国家戦略で掲げられた2030年ミッション「ネイチャーポジティブ（自然再興）^{※1}」の実現に向け、本市戦略を改定中（2025年度から開始予定）
※1 自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること
- 次期戦略では、
 - （1）生物多様性を大切にする価値観の形成
 - （2）生物多様性の適切な保全と回復
 - （3）自然を活用した多様な課題の解決の3つの視点から、北九州市の都市と近接する豊かな自然「アーバンネイチャー」のプロモーションやネイチャーポジティブの取組強化を進める

9